

日本語研究教育センター別科日本語専修課程 口頭表現 5A, 5B  
TeleMeet (ビデオ会議システム)

## ボランティアの皆様へ

宮崎里司\*

この度は、TeleMeet にボランティアとして、ご参加いただきありがとうございました。早大生の皆さんと直接日本語で話ができ、ネットワークを広げられるとして、留学生に好評です。マルチメディアを使った、こうした日本語教育は、新しい語学教育の可能性を探る上で、各方面から注目されています。そこで、お忙しいとは思いますが、今後の開発の参考とさせていただくために、以下の質問にお答えいただければ幸いです。また、お書きになりましたら、恐れ入りますが、担当の TA にお渡しいただければ幸いです。

お名前 \_\_\_\_\_

学部・学年 \_\_\_\_\_

Eメールのアドレス \_\_\_\_\_

ご協力いただいた日と時間帯 \_\_\_\_\_

相手の学生名 \_\_\_\_\_

今回の会話の中で扱われたトピックと、そのトピックはどちらがイニシャティブを取っていたかを書いてください。

	トピック	イニシャティブ (どちらかにをつけてください)
a	( )	( 自分 ・ 相手 )
b	( )	( 自分 ・ 相手 )

---

\* 早稲田大学日本語研究教育センター日本語別科専修課程 口頭表現 コーディネーター

相手の学生の話し方の中で、何か気になったところがありましたか。

---

---

TeleMeet での会話に、何か違和感を覚えましたか。(音声のズレ、不明瞭さ、映像)

---

---

電子ボード(ホワイトボード)を使用しましたか。使った人は、どんな感想をもちましたか。

---

---

今回 TeleMeet に参加してみたいと思った理由は何ですか

---

---

今後もこうした活動に参加してみたいと思いますか

---

---

今回の TeleMeet では、1対1の対話形式を導入しましたが、例えば、グループでの会話などを行ってみたいと思いますか。

---

---

その他、コメントなどありましたら、自由にお書きください。

---

---

---

---

ご協力ありがとうございました。